

吸収合併に係る事前開示書面

2020 年 5 月 12 日

株式会社コラボス

代表取締役 茂木 貴雄

当社は、2020 年 5 月 12 日付で株式会社シーズファクトリーとの間で締結した吸収合併契約書に基づき、2020 年 7 月 1 日を効力発生日として、当社を吸収合併存続会社、株式会社シーズファクトリーを吸収合併消滅会社とする吸収合併（以下「本吸収合併」といいます。）を行うこととしました。本吸収合併に関し、会社法第 794 条第 1 項及び会社法施行規則第 191 条に定める事項は下記のとおりです。

記

1. 吸収合併契約の内容（会社法第 794 条第 1 項）

別紙 1 のとおり、2020 年 5 月 12 日付で、吸収合併契約を締結しました。

2. 合併対価の相当性に関する事項（会社法施行規則第 191 条第 1 号）

吸収合併消滅会社である株式会社シーズファクトリーが当社の完全子会社であることから、本吸収合併に際しては株式の発行および金銭等の対価の交付を行いません。

3. 吸収合併消滅会社の新株予約権に関する事項（会社法施行規則第 191 条第 2 号）

該当事項はありません。

4. 吸収合併消滅会社の最終事業年度に係る計算書類等に関する事項（会社法施行規則第 191 条第 3 号）

株式会社シーズファクトリー最終事業年度（2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日）に係る計算書類等は、別紙 2 のとおりです。また、株式会社シーズファクトリーにおいて最終事業年度の末日後に生じた重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象はありません。

5. 当社において最終事業年度の末日後に生じた重要な後発事象（会社法施行規則第 191 条第 5 号）

該当事項はありません。

6. 吸収合併が効力を生ずる日以後における当社の債務の履行の見込みに関する事項
（会社法施行規則第 191 条第 6 号）

当社(2020 年 3 月 31 日現在)および吸収合併消滅会社(2020 年 3 月 31 日現在)の貸借対照表における資産の額、負債の額および純資産の額は下表のとおりです。

	資産の額	負債の額	純資産の額
当社	2,343,593 千円	491,012 千円	1,852,581 千円
吸収合併消滅会社	4,294 千円	2,533 千円	1,760 千円

本吸収合併効力発生日後の当社の資産の額は、債務の額を十分に上回ることが見込まれます。また、本吸収合併後の当社の収益状況およびキャッシュ・フローの状況について、当社の債務の履行に支障を及ぼすような事態は、現在のところ予測されておりません。従って、本吸収合併後における当社の債務について履行の見込みがあると判断いたします。

以 上



吸収合併契約書

株式会社コラボス（以下「甲」という）と株式会社シーズファクトリー（以下「乙」という）とは、以下のとおり吸収合併契約を締結する。

第 1 条（吸収合併）

甲と乙は、甲を合併存続会社、乙を合併消滅会社として吸収合併（以下「本合併」という）し、甲が乙の権利義務の全部を承継して存続し、乙は解散する。

第 2 条（商号および住所）

吸収合併存続会社および吸収合併消滅会社の商号および住所は次のとおりである。

（1）吸収合併存続会社

（商号）株式会社コラボス

（住所）東京都墨田区押上 1－1－2 東京スカイツリーイーストタワー 17 階

（2）吸収合併消滅会社

（商号）株式会社シーズファクトリー

（住所）東京都千代田区内神田 1－15－10 the c (No.231)

第 3 条（合併の効力発生日）

合併の効力発生日は 2020 年 7 月 1 日とする。但し、合併手続の進行上必要がある場合、甲乙が協議の上、これを変更することができる。

第 4 条（合併対価）

甲は、乙の発行済株式の全部を所有しているため、本合併に際し、乙の株主に対して、その有する乙の株式に代わる金銭その他の財産を交付しない。

第 5 条（資本金等の額）

甲は、本合併によりその資本金の額及び準備金の額を増加しない。

第 6 条（株主総会の承認）

1. 甲は、会社法第 796 条第 2 項の規定に基づく簡易合併の方法を用い、株主総会による本契約の承認を得ずに合併する。
2. 乙は、会社法第 784 条第 1 項の規定に基づく略式合併の方法を用い、株主総会による本契約の承認を得ずに合併する。

第 7 条（会社財産の引継ぎ）

1. 乙は、2020 年 3 月 31 日現在の貸借対照表その他同日現在の計算を基礎とし、これに効力発生日までの増減を反映した一切の資産、負債及び権利義務その他の法律関係を、合併の効力発生日に甲に引き継ぐ。

2. 乙は、第1項記載の貸借対照表作成日の翌日から効力発生日の前日までの資産及び負債の変動を、計算書を作成して甲に報告する。

第8条（業務の運営）

甲及び乙は、本契約締結後効力発生日に至るまで、善良な管理者の注意をもってその業務の執行及び財産の管理、運営を行い、その重要な財産又は権利義務に重大な影響を及ぼす行為については、あらかじめ甲乙協議の上、これを行う。

第9条（契約の変更及び解除）

本契約の締結日から効力発生日までの間、天災地変その他の事由により、甲または乙の資産状態もしくは経営状態に重要な変更が生じたとき、または本契約の目的の達成が困難になったときは、甲および乙は、協議の上、本合併の条件その他本契約の内容を変更し、または本契約を解除することができる。

第10条（本契約の効力）

本契約は、甲乙双方の取締役会承認または法令に定める関係官庁等の承認が得られないときは、その効力を失う。

第11条（協議）

本契約に定めるもののほか、本合併に必要な事項は、本契約の趣旨に従い、甲および乙が協議の上、これを定める。

以上の合意を証するため、本契約書2通を各当事者が記名押印して作成し、各自1通を保管する。

2020年5月12日

甲：東京都墨田区押上1-1-2

東京スカイツリーイーストタワー17階

株式会社コラボス

代表取締役社長 茂木 貴雄



乙：東京都千代田区内神田1-15-10

the c (No.231)

株式会社シーズファクトリー

代表取締役社長 鈴木 裕幸



事業報告

第 3 期 事 業 年 度

自 2018 年 4 月 1 日
至 2019 年 3 月 31 日

株式会社シーズファクトリー

事業報告

自 2018 年 4 月 1 日

至 2019 年 3 月 31 日

1. 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過及び成果

当事業年度におけるわが国経済は、堅調を維持する企業収益や設備投資の増加基調と雇用情勢及び雇用所得環境の改善や個人消費の持ち直し等により、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、米国の通商政策による米中貿易摩擦や中国経済の減速懸念、英国の EU 離脱問題等の海外経済の不確実性から先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社が属するコールセンター向け AI サービス市場においては、2016 年度は調査対象企業（16 社）で 271 億円、2021 年までに 1,092 億円まで拡大すると予想している。今後 5 年間で、実に 4 倍にまで成長すると予想しております。（出典：株式会社リックテレコム 「コールセンター白書 2018」）

このような環境下、目標としておりました単月黒字は達成したものの、毎月安定的な売上を生み出す仕組みは構築できておらず、通期での黒字化は出来ておりません。売上高は、14,380,146 円、売上総利益は、6,146,639 円、販売管理費は、19,707,028 円となり、営業損失は、13,560,389 円となりました。また、営業外収益 402 円を計上した結果、経常損失が 13,559,987 円となり、税引前当期純損失が、13,559,987 円、税金費用等を控除した結果、当期純損失は 13,739,995 円となりました。

(2) 設備投資の状況

該当事項はありません。

(3) 資金調達の状況

普通株式 1,000 株を発行し、30,000,000 円の増資を行いました。

(4) 対処すべき課題

当社が対処すべき主な課題は、スポットでの利用が多く、定常利用が少ないことです。また、案件数増につれて、解析業務が多くなり、営業活動に力が費やせていないことがあり、早急な組織体制構築が課題であります。これらの課題に迅速に対処して行く必要があります。

(5) 直前 3 事業年度の財産及び損益の状況

区 分	第 1 期 (2017 年 3 月期)	第 2 期 (2018 年 3 月期)	第 3 期 (2019 年 3 月期)
売上高 (円)	1,911,700	13,890,537	14,380,146
経常損失 (円)	6,941,407	14,154,282	13,559,987
当期純損失 (円)	7,016,410	14,334,281	13,739,995
1 株当たり当期純損失 (円)	17,541.03	25,280.92	12,873.20
総資産 (円)	10,214,159	10,196,978	20,074,232
純資産 (円)	4,983,590	669,309	16,929,314
1 株当たり純資産 (円)	12,458.98	1,180.43	15,861.32

(6) 重要な親会社及び子会社の状況

① 重要な親会社の状況

当社の親会社であります株式会社コラボスは、当事業年度末において当社株式 1,374 株（議決権比率 79.2%）を保有しております。

② 重要な関連会社の状況

当社の関連会社であります株式会社アイズファクトリーは、当事業年度末において当社株式 360 株（議決権比率 20.8%）を保有しております。

③ 重要な子会社の状況

該当事項はありません。

(7) 主要な事業内容（2019 年 3 月 31 日現在）

「GOLDEN LIST」をメインとした、コールセンターに特化したクラウド型のデータ解析ツールの提供

(8) 主要な事業所（2019 年 3 月 31 日現在）

本社：東京都千代田区内神田 1-15-10 the c(No.231)

(9) 使用人の状況（2019 年 3 月 31 日現在）

該当事項はありません。

(10) 主要な借入先の状況（2019 年 3 月 31 日現在）

該当事項はありません。

2. 株式の状況（2019 年 3 月 31 日現在）

(1) 発行可能株式総数 6,900 株

(2) 発行済株式総数 1,734 株

(3) 株主数 2 名

(4) 株主の状況

株 主 名	株 数	出 資 比 率
株式会社コラボス	1,374 株	79.2%
株式会社アイズファクトリー	360 株	20.8%

（注）自己株式は所有しておりません。

(5) その他株式に関する重要な事項

該当事項はありません。

3. 会社役員の状況

(1) 取締役及び監査役の状況（2019 年 3 月 31 日現在）

会社における地位	氏 名	担当及び重要な兼職の状況
代 表 取 締 役 社 長	田 邊 隆 介	
取 締 役	鈴 木 裕 幸	株式会社コラボス 取締役（常勤） 株式会社コラボス ビジネスデベロップメント部 部長
取 締 役	小 川 勇 樹	株式会社コラボス 取締役（常勤） 株式会社コラボス 営業第一部 部長
監 査 役	服 部 亮	株式会社コラボス 管理部企画 IR 課 課長

（注） 1：取締役 小野 正樹氏は、2019 年 1 月 28 日辞任いたしました。

(2) 取締役及び監査役の報酬等

役員区分	報酬額等の総額 (円)	報酬等の種類別の総額 (円)		対象となる役員の 員数 (名)
		基本報酬	賞与	
取締役	10,276,119	10,276,119	-	2

(3) 責任限定契約の内容の概要
該当事項はありません。

(4) 社外役員に関する事項
該当事項はありません。

計 算 書 類

(第 3 期)

自 2018年 4月 1日

至 2019年 3月31日

株式会社シーズファクトリー

貸 借 対 照 表

2019年 3月31日 現在

株式会社シーズファクトリー

(単位： 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	19,157,565	【流動負債】	3,144,918
現 金 及 び 預 金	15,788,283	買 掛 金	429,097
売 掛 金	3,279,942	未 払 金	2,473,992
前 払 費 用	89,340	未 払 法 人 税 等	241,829
【固定資産】	916,667	負 債 の 部 合 計	3,144,918
【無形固定資産】	916,667	純 資 産 の 部	
ソ フ ト ウ ェ ア	916,667	【株主資本】	16,929,314
		資 本 金	26,010,000
		資 本 剰 余 金	26,010,000
		資 本 準 備 金	26,010,000
		利 益 剰 余 金	-35,090,686
		そ の 他 利 益 剰 余 金	-35,090,686
		繰 越 利 益 剰 余 金	-35,090,686
		純 資 産 の 部 合 計	16,929,314
資 産 の 部 合 計	20,074,232	負 債 及 び 純 資 産 合 計	20,074,232

損 益 計 算 書

自 2018年 4月 1日
至 2019年 3月31日

株式会社シーズファクトリー

(単位： 円)

科 目	金 額	
【売上高】		
売 上 高	14,380,146	
売 上 高 合 計		14,380,146
【売上原価】		
当 期 商 品 仕 入 高	7,233,507	
ソ フ ト ウ ェ ア 償 却 費	1,000,000	
合 計	8,233,507	
売 上 原 価		8,233,507
売 上 総 利 益 金 額		6,146,639
【販売費及び一般管理費】		
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 合 計		19,707,028
営 業 損 失 金 額		13,560,389
【営業外収益】		
受 取 利 息	57	
雑 収 入	345	
営 業 外 収 益 合 計		402
経 常 損 失 金 額		13,559,987
税 引 前 当 期 純 損 失 金 額		13,559,987
法 人 税 等		180,008
当 期 純 損 失 金 額		13,739,995

株主資本等変動計算書

自 2018年 4月 1日
至 2019年 3月31日

株式会社シーズファクトリー

(単位: 円)

	株主資本						純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金	利益剰余金 合計		
				繰越 利益剰余金			
当期首残高	11,010,000	11,010,000	11,010,000	△ 21,350,691	△ 21,350,691	669,309	669,309
当期変動額							
新株の発行	15,000,000	15,000,000	15,000,000			30,000,000	30,000,000
当期純利益金額				△ 13,739,995	△ 13,739,995	△ 13,739,995	△ 13,739,995
当期変動額合計	15,000,000	15,000,000	15,000,000	△ 13,739,995	△ 13,739,995	16,260,005	16,260,005
当期末残高	26,010,000	26,010,000	26,010,000	△ 35,090,686	△ 35,090,686	16,929,314	16,929,314

個 別 注 記 表

自 2018年 4月 1日
至 2019年 3月31日

株式会社シーズファクトリー

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 固定資産の減価償却の方法

(1) 無形固定資産

ソフトウェアについては、見込利用可能期間(3年)に基づく定額法によっております。

2. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

II. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当事業年度末日における発行済株式の数

1,734株

監 査 報 告

2018年4月1日から2019年3月31日までの第3期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法および結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法およびその内容

監査役は、取締役および親会社の監査役その他のものと意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社において業務および財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告およびその附属明細書、さらに会計帳簿およびこれに関する資料の調査を行い計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書および個別注記表）およびその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ①事業報告およびその附属明細書は、法令および定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②取締役の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類およびその附属明細書の監査結果

計算書類およびその附属明細書は、会社の財産および損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2019年5月28日

株式会社シーズファクトリー

監査役 服部 亮

